

懸垂幕や横断幕で応援を

前向きに検討する



こまつ たかとし 議員  
小松 孝年

**問** 全国大会出場や日本代表など、町内の活躍している選手や団体への激励と黒潮町の誇りを兼ねて、懸垂幕や横断幕を掲げたり、祝金の制度を作ってはどうか。

**答** 坂本教育長

学校で部活動等に打ち込み、優秀な成績を収めている生徒や、各種のスポーツで顕著な活躍をされている町民の方々に激励することは非常に大切なことであると考えている。

出場に際して横断幕や懸垂幕を掲げることが、祝福を受けた選手自身の大きな励みにもなる。

町や教育委員会で、これまでこういった対応を取っていなかったのは、現実的に非常に多くの検討をすべき課題があったからではないかと思う。町民の方々に説明できる明確な基準と問題がクリアできるように前向きに検討していく。

という方向でいくか強化も含め検討すべきではないか。

**答** 坂本教育長

佐賀中学校も大方中学校も、部員不足は問題となっている。併せて、生徒数の減少は教職員数の減少にもつなり、専門の指導者の確保といった面でも課題がある。保護者からは具体的な話はまだ出ていないが、今後は、部の数を少なくしていくことや、連合チームの結成なども含めて、学校と保護者間で検討していく必要があると思う。

また、部活動の強化については、保護者の方から、部活動を指導できる教職員を望む声もある。しかし、すべての部活動にそういった教職員を配置することは現実問題困難であり、外部コーチを導入する等の対応については、保護者で協議をしてもらうことになると思う。

**問** 学校教育、生涯学習におけるスポーツの意義は何か。

**答** 坂本教育長

学校教育において、運動やスポーツは、体を動かすという人間の本質的な欲求に応え、精神的にも達成感や楽しさなどを与えるとともに、健康の増進や体力の向上につながり、児童生徒にとっては人間形成に大きく影響を与え、心身両面にわたる健全な発達に大きく寄与するものである。

次に、生涯学習におけるス

ポーツの意義は、スポーツは多様な意義を持っており、特に現代社会では、生活の利便化などにより運動不足に陥りやすい生活環境になっており、スポーツにより意識的に身体を動かすことが日常の生活に不可欠となっている。日常生活の中で主体的に、また継続的にスポーツに親しむことにより、仲間や家族との触れ合いを図りながら、健康で積極的なライフスタイルを形成できると思っている。

また、スポーツは生きがいづくりの面からも大事なもので特に、高齢者が生きがいを持ち、老後をいかに健康で豊かに過ごしていくかという観点からも重要である。

このように、スポーツはさまざまな意義を持っている。

**問** 生徒数減少による部員不足が見えてくる。今後、町内の中学校のクラブ活動をどう



出場を祝う横断幕（黒潮町役場）